

米子城跡周辺 散策MAP

古くから商業のまちとして栄えてきた米子市は、便利なアクセス環境から山陰観光の拠点となっています。陸の玄関口である米子駅をスタート地点とし、約2km圏内にある名所や注目のスポットを見つけ、ぶらぶらと散策しながら米子のまちを歩いてみると、面白い発見があるかもしれません。

- 城跡までの最速ルート
- 彫刻ロード

- ### アイコンの説明
- 🍷 休憩スポット
 - 🚗 C カーシェアスポット
 - P 駐車場
 - H 宿泊施設
 - 📮 T 郵便局
 - 🚉 だんだんバス発着場所

市内循環バス「だんだんバス」

米子駅を起点とする市内の中心部を時折巡回しています。多くの名所・観光地を巡ります。

🚍 1日周回コース
🚍 平日午前8時～午後6時
🚍 土曜・日曜・祝日
🚍 米子駅前～米子市立図書館
🚍 米子市立図書館～米子市立図書館

📱 QRコード
📱 だんだんバス
📱 発着案内

🌐 <http://mobility.yonago-city.gov.jp/>

岡本一銭屋

大正一銭屋が原型の駄菓子屋さん。奥にある瓦葺きの町家は明治元年築。わがやまに誇りを持っています。

内町後藤家

後藤家は江戸時代に海運業を営み、藩の米の取引の中心を担った豪商の家系でした。この時代に、水運が発達する島根藩の商家はこの地を以て二軒建て、邸の歴史文化に指定されています。

米子市児童文化センター

親子で楽しむ日でも安心して選べる公民館施設です。「金太朗検校シム」導入のアナタラクマや、図書館、多目的ホールで思いっきり体を動かしたり、ホワイエでは工作の体験ができます。

湊公園

鳥取西部屈指の名所のひとつとして、春のシーズンには多くの観光客で賑わいます。公園の中には日本庭園「自由の園」庭園「寛政」シンボルゾーンが散りばめられています。特に桜まつり、裏にはがな祭花火大会お盆の精霊流し、秋には市民大音楽会などが毎年催され、多くの市民の憩いの場です。長年展示されている引越車庫のD51は、子代たちに愛されている湊公園のアイコン的存在です。

周辺観光スポット

ちょっとおでかけ

朝日町界隈

昭和の雰囲気を色濃く残す茶屋街、商店街、BAR、スナックなど個性豊かな飲食店が並び並んでいます。自分好みの店を探して散策を始めるのも面白いかもしれません。朝日町界隈の「口」の字に囲まれた町並みです。

山陰歴史館

旧山陰市庁舎として市に売却された昭和5年建築された建物は、現在は米子の商賈資料や米子の歴史資料、米子ゆかりの人の資料などを展示しています。市の歴史文化に指定されています。

米子城跡

標高90mの山頂に位置し、天守閣からは米子市、日本海、中津、島根半島、中国山地を一望できる360度見渡す事が出来ます。元禄19年(1691年)に堀切完成である川口定家公が建設を始め、その後享保6年(1691年)に白藤土蔵や米子丸太中村一忠が天守閣を築き、米子城跡の規模が拡大し、1699年に中村家が断絶。その後、島根藩の家老、荒瀬成海が預かりとなり、幕末までの11代に亘り米子城を管理していました。明治2年に米子城は荒瀬氏から藩手へ引き渡され、土壌に埋められ、そして明治6年には米子城跡の大半は埋め立てられ、取り壊されてしまいました。

米子桜まつり

毎年4月上旬から5月上旬が楽しめます。

米子市公会堂

ブランドピアノをモチーフとして1958年に山陰一の文化の殿堂として建設されました。設計は日本を代表する建築家 村野藤吾氏。当時の市民の熱い思いが結集した米子のシンボルです。

米子市立図書館

12万5千冊の書籍と児童図書部と児童図書部との読書ボランティア支援のためのコーナーもあつきます。

米子市美術館

国書複製、穂田正也、中ハシケンなど郷土ゆかりの芸術家の作品170余点を展示・展示しています。カフェも併設しているため、ゆっくりと鑑賞することができます。

米子城跡

標高90mの山頂に位置し、天守閣からは米子市、日本海、中津、島根半島、中国山地を一望できる360度見渡す事が出来ます。元禄19年(1691年)に堀切完成である川口定家公が建設を始め、その後享保6年(1691年)に白藤土蔵や米子丸太中村一忠が天守閣を築き、米子城跡の規模が拡大し、1699年に中村家が断絶。その後、島根藩の家老、荒瀬成海が預かりとなり、幕末までの11代に亘り米子城を管理していました。明治2年に米子城は荒瀬氏から藩手へ引き渡され、土壌に埋められ、そして明治6年には米子城跡の大半は埋め立てられ、取り壊されてしまいました。

DARAZ CREATE BOX

DARAZ(ダラズ)とは、同じでも異なる個性が生まれることを受けて生まれた個性ある「心」の空間。そのDARAZをコンセプトに元銀行の10階多用途ビル「FM 79.8MHz」を改装したDARAZ FM(79.8MHz)がオープン。

米子市立図書館

12万5千冊の書籍と児童図書部と児童図書部との読書ボランティア支援のためのコーナーもあつきます。

米子市美術館

国書複製、穂田正也、中ハシケンなど郷土ゆかりの芸術家の作品170余点を展示・展示しています。カフェも併設しているため、ゆっくりと鑑賞することができます。

米子城跡

標高90mの山頂に位置し、天守閣からは米子市、日本海、中津、島根半島、中国山地を一望できる360度見渡す事が出来ます。元禄19年(1691年)に堀切完成である川口定家公が建設を始め、その後享保6年(1691年)に白藤土蔵や米子丸太中村一忠が天守閣を築き、米子城跡の規模が拡大し、1699年に中村家が断絶。その後、島根藩の家老、荒瀬成海が預かりとなり、幕末までの11代に亘り米子城を管理していました。明治2年に米子城は荒瀬氏から藩手へ引き渡され、土壌に埋められ、そして明治6年には米子城跡の大半は埋め立てられ、取り壊されてしまいました。

DARAZ CREATE BOX

DARAZ(ダラズ)とは、同じでも異なる個性が生まれることを受けて生まれた個性ある「心」の空間。そのDARAZをコンセプトに元銀行の10階多用途ビル「FM 79.8MHz」を改装したDARAZ FM(79.8MHz)がオープン。

米子市立図書館

12万5千冊の書籍と児童図書部と児童図書部との読書ボランティア支援のためのコーナーもあつきます。

米子市美術館

国書複製、穂田正也、中ハシケンなど郷土ゆかりの芸術家の作品170余点を展示・展示しています。カフェも併設しているため、ゆっくりと鑑賞することができます。

米子城跡

標高90mの山頂に位置し、天守閣からは米子市、日本海、中津、島根半島、中国山地を一望できる360度見渡す事が出来ます。元禄19年(1691年)に堀切完成である川口定家公が建設を始め、その後享保6年(1691年)に白藤土蔵や米子丸太中村一忠が天守閣を築き、米子城跡の規模が拡大し、1699年に中村家が断絶。その後、島根藩の家老、荒瀬成海が預かりとなり、幕末までの11代に亘り米子城を管理していました。明治2年に米子城は荒瀬氏から藩手へ引き渡され、土壌に埋められ、そして明治6年には米子城跡の大半は埋め立てられ、取り壊されてしまいました。

ヨナゴフィルム

米子を全国地方都市におけるポピュラーな充実ツラツラの町にするべく、米子市と共同で開業しました。毎年秋開催の米子映画祭やイベントの開催地でもあります。

米子市立図書館

12万5千冊の書籍と児童図書部と児童図書部との読書ボランティア支援のためのコーナーもあつきます。

米子市美術館

国書複製、穂田正也、中ハシケンなど郷土ゆかりの芸術家の作品170余点を展示・展示しています。カフェも併設しているため、ゆっくりと鑑賞することができます。

米子城跡

標高90mの山頂に位置し、天守閣からは米子市、日本海、中津、島根半島、中国山地を一望できる360度見渡す事が出来ます。元禄19年(1691年)に堀切完成である川口定家公が建設を始め、その後享保6年(1691年)に白藤土蔵や米子丸太中村一忠が天守閣を築き、米子城跡の規模が拡大し、1699年に中村家が断絶。その後、島根藩の家老、荒瀬成海が預かりとなり、幕末までの11代に亘り米子城を管理していました。明治2年に米子城は荒瀬氏から藩手へ引き渡され、土壌に埋められ、そして明治6年には米子城跡の大半は埋め立てられ、取り壊されてしまいました。

DARAZ CREATE BOX

DARAZ(ダラズ)とは、同じでも異なる個性が生まれることを受けて生まれた個性ある「心」の空間。そのDARAZをコンセプトに元銀行の10階多用途ビル「FM 79.8MHz」を改装したDARAZ FM(79.8MHz)がオープン。

米子市立図書館

12万5千冊の書籍と児童図書部と児童図書部との読書ボランティア支援のためのコーナーもあつきます。

米子市美術館

国書複製、穂田正也、中ハシケンなど郷土ゆかりの芸術家の作品170余点を展示・展示しています。カフェも併設しているため、ゆっくりと鑑賞することができます。

米子城跡

標高90mの山頂に位置し、天守閣からは米子市、日本海、中津、島根半島、中国山地を一望できる360度見渡す事が出来ます。元禄19年(1691年)に堀切完成である川口定家公が建設を始め、その後享保6年(1691年)に白藤土蔵や米子丸太中村一忠が天守閣を築き、米子城跡の規模が拡大し、1699年に中村家が断絶。その後、島根藩の家老、荒瀬成海が預かりとなり、幕末までの11代に亘り米子城を管理していました。明治2年に米子城は荒瀬氏から藩手へ引き渡され、土壌に埋められ、そして明治6年には米子城跡の大半は埋め立てられ、取り壊されてしまいました。

法務寺電車

1924年、旧米子町(現在の米子市)を走るから山陰線約12.4kmを走る。1967年に全線廃止となるまで44年地域の人のために走っていた。ここに11年7年英国で製造された当時の電車が展示されています。線路の一部は、まらな？

米子市立図書館

12万5千冊の書籍と児童図書部と児童図書部との読書ボランティア支援のためのコーナーもあつきます。

米子市美術館

国書複製、穂田正也、中ハシケンなど郷土ゆかりの芸術家の作品170余点を展示・展示しています。カフェも併設しているため、ゆっくりと鑑賞することができます。

米子城跡

標高90mの山頂に位置し、天守閣からは米子市、日本海、中津、島根半島、中国山地を一望できる360度見渡す事が出来ます。元禄19年(1691年)に堀切完成である川口定家公が建設を始め、その後享保6年(1691年)に白藤土蔵や米子丸太中村一忠が天守閣を築き、米子城跡の規模が拡大し、1699年に中村家が断絶。その後、島根藩の家老、荒瀬成海が預かりとなり、幕末までの11代に亘り米子城を管理していました。明治2年に米子城は荒瀬氏から藩手へ引き渡され、土壌に埋められ、そして明治6年には米子城跡の大半は埋め立てられ、取り壊されてしまいました。

米子駅(わびき駅)

1902年開業の米子駅は山陰線発祥の地であり、山陰本線、伯耆線、南線の3路線が乗り入っています。その中でも丸太部や米子丸、様々な駅舎たちがイベントなどに活用されている。全駅に駅舎の歴史が伝わる。米子駅は「わびき駅」の別名があります。丸太部列車が発着するホームは、駅名にもなった「わびき駅」の由来は、丸太部が一度も入駅せずに米子駅を通過する。丸太部列車は「わびき駅」で下車し、米子駅まで徒歩約7分。

米子市立図書館

12万5千冊の書籍と児童図書部と児童図書部との読書ボランティア支援のためのコーナーもあつきます。

米子市美術館

国書複製、穂田正也、中ハシケンなど郷土ゆかりの芸術家の作品170余点を展示・展示しています。カフェも併設しているため、ゆっくりと鑑賞することができます。

米子城跡

標高90mの山頂に位置し、天守閣からは米子市、日本海、中津、島根半島、中国山地を一望できる360度見渡す事が出来ます。元禄19年(1691年)に堀切完成である川口定家公が建設を始め、その後享保6年(1691年)に白藤土蔵や米子丸太中村一忠が天守閣を築き、米子城跡の規模が拡大し、1699年に中村家が断絶。その後、島根藩の家老、荒瀬成海が預かりとなり、幕末までの11代に亘り米子城を管理していました。明治2年に米子城は荒瀬氏から藩手へ引き渡され、土壌に埋められ、そして明治6年には米子城跡の大半は埋め立てられ、取り壊されてしまいました。

周辺観光スポット

ちょっとおでかけ

米子市 皆生温泉

日暮青松の海と国立公園に囲まれ、美しいロケーションが魅力の温泉地。1900年に海部の湯に湧き出る温泉を発見したことに始まり、その効果は健康や美容など様々な効果があります。

境港市 夢みなと公園「夢みなとタワー」

境港市の海と鳥取県の魅力を紹介する展示室や物産館センターなどがあり、海産物市場、温泉も併設しています。高さ43mの展望台からは、大山や日本海が一望できます。

境港市 水木しげるロード

境港市からアークード沿いに水木しげる記念館まで続く全長800mの水木しげるロード。道の両側から170体以上の妖怪グッズが展示されています。また水木しげるの人物や作品を紹介する記念館もあります。

南部町 とっとり花回廊

年額400種、約200万本の花が咲く国内最大のフラワーパーク、1000以上の品種が展示されたフラワーゾーンや様々な種類のユリが1年中観賞できるユリのエリアと、随所に見ついたり。